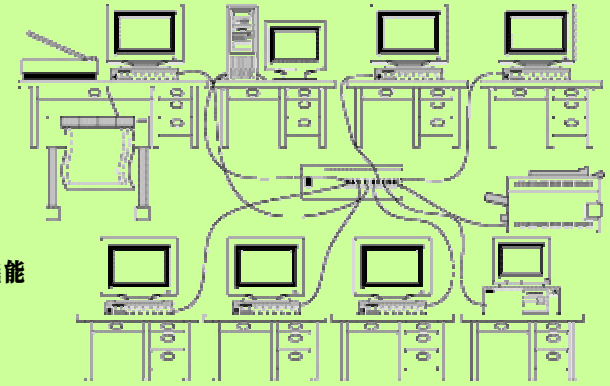
SSS-CORE
The Scalable Operating System

SSS-CORE（スリー・エス・コア）は単体マシンから1万台のワークステーションクラスタまで対応可能な汎用スケーラブルオペレーティングシステムです。職場の遊休計算機資源を高性能並列計算機として活用できます。

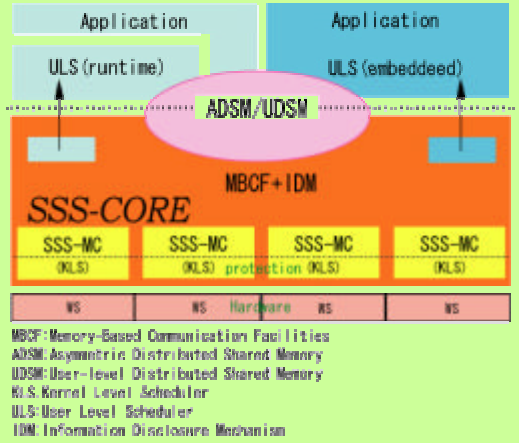
特徴

1. 高機能、低遅延、低オーバヘッドの汎用通信方式: MBCF
2. 並列プログラムの多重並行処理（マルチタスク）
3. ノード間の負荷分散機能・タスクマイグレーション機能
4. ノードを越えた情報開示機構: IDM
5. IPsecによる外部との高セキュリティ通信
6. UNIXプログラムの実行・システムコールエミュレーション機能
7. 分散共有メモリサポート: ADSM/UDSM
8. 共有メモリプログラム用最適化コンパイラ: RCOP
9. 高性能MPIライブラリ: MPI/MBCF
10. 純国産オペレーティングシステム



職場の計算機群を高性能並列計算機に

並列アプリケーションのマルチタスク実行



*SSS-CORE*の機能構成

動作確認済計算機

Sun Microsystems社
SPARCstation 10
SPARCstation 20
Ultra 2 (Creator, Creator3D, GX, TurboGX)
Ultra 60 (Creator, Creator3D)

上記ワークステーションにおいてネットワークブートで起動
他オペレーティングシステムとのディスク共用が可能

研究開発元
東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻

*SSS-CORE*に関するお問い合わせは東京大学大学院理学系研究科
松本尚（03-5841-4110,tm@is.s.u-tokyo.ac.jp）までお願いします。

*SSS-CORE*の開発実行環境